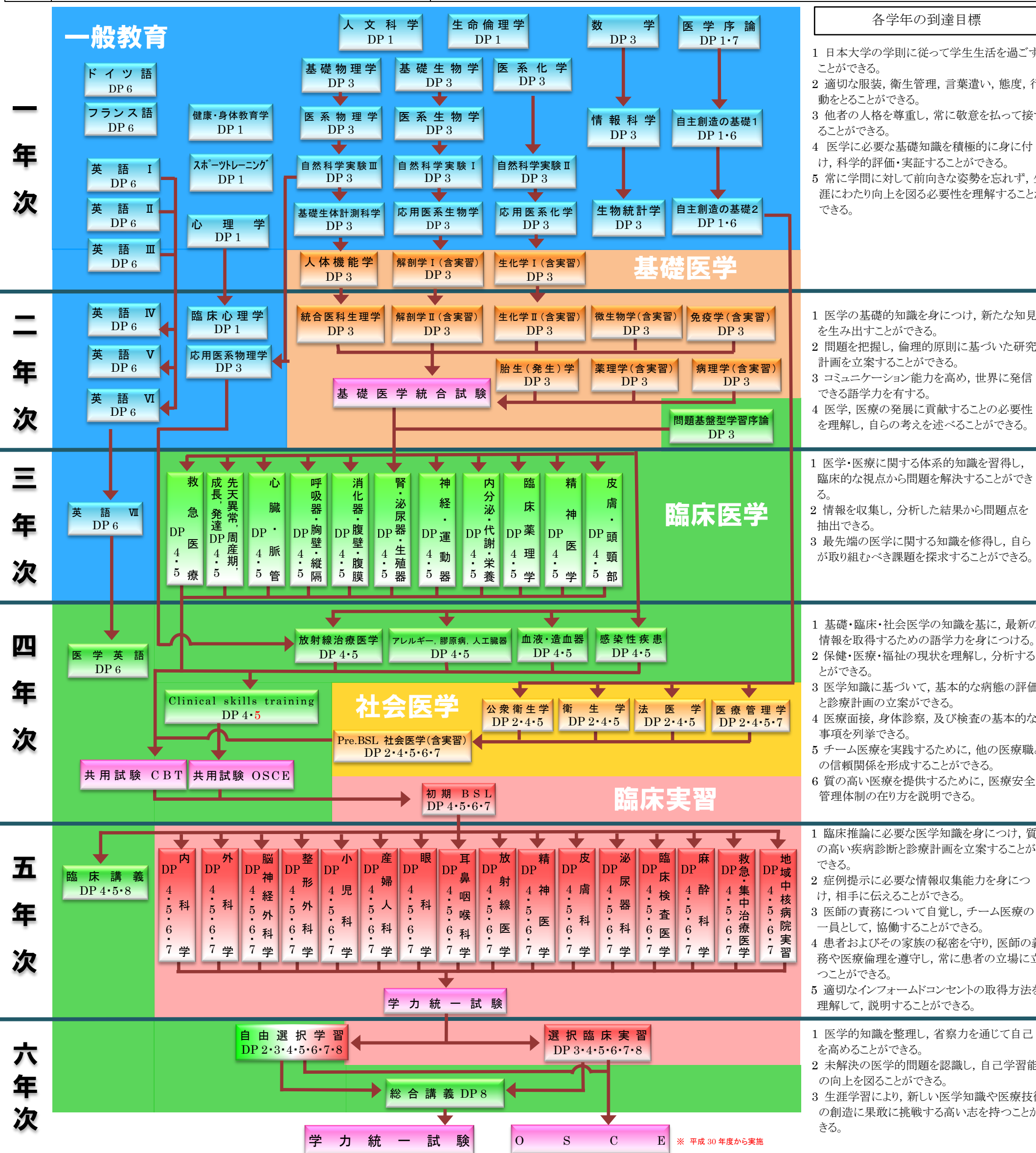


日本大学医学部医学科 履修系統図

【卒業コンピテンス及びコンピテンシー】

DP	コンピテンス	コンピテンシー
DP1	教養・知識に基づく高い倫理観	生命に対する尊厳を持ち、責任ある医療を実践するための豊かな教養と医学の知識を修得し、倫理的原則に基づいた医療を実践できる。
DP2	保健・医療・福祉の社会性を理解して、世界の現状を理解し、説明する力	自己の専門領域の文化的・社会的位置付けを把握し、地域社会及び国際社会の保健・医療・福祉の現状を理解して、疾病予防と健康増進の向上に寄与することができる。
DP3	論理的・批判的思考力	新たな知識の創造をめざし、得られる情報を基に実証的・論理的な思考、及び批判的な思考ができる。
DP4	問題発見・解決力	患者に対して思いやりと敬意を示し、基礎・臨床・社会医学領域において、自らの立場を基に、事象を注意深く観察して、問題を発見し、解決策を提案することができる。
DP5	挑戦力	医療の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を基に、新しい医学知識や医療技術の創造に果敢に挑戦することができる。
DP6	コミュニケーション力	国内外の多様な文化、社会、環境の中で他者を理解し、その価値観を尊重し、医療の現場において適切なコミュニケーションを主体的に実践し、自らの考えを伝え、発信することができる。
DP7	リーダーシップ・協働力	患者とその近親者、及び医療チームを尊重し、医療の質の向上と患者の安全管理を確保するために、責任ある医療を実践する上でのリーダーシップ・協働力を身に付ける
DP8	省察力	生涯にわたり、患者の安全を基盤に医療の質を担保し、謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて基礎・臨床・社会医学領域において自己を高めることができる。



- 1 医学の基礎的知識を身に付け、新たな知見を生み出すことができる。
- 2 問題を把握し、倫理的原則に基づいた研究計画を立案することができる。
- 3 コミュニケーション能力を高め、世界に発信できる語学力を有する。
- 4 医学、医療の発展に貢献することの必要性を理解し、自らの考えを述べるができる。
- 1 医学・医療に関する体系的知識を習得し、臨床的な視点から問題を解決することができる。
- 2 情報を収集し、分析した結果から問題点を抽出できる。
- 3 最先端の医学に関する知識を修得し、自らが取り組むべき課題を探求することができる。
- 1 基礎・臨床・社会医学の知識を基に、最新の情報を取得するための語学力を身につける。
- 2 保健・医療・福祉の現状を理解し、分析することができる。
- 3 医学知識に基づいて、基本的な病態の評価と診療計画の立案ができる。
- 4 医療面接、身体診察、及び検査の基本的な事項を列挙できる。
- 5 チーム医療を実践するために、他の医療職との信頼関係を形成することができる。
- 6 質の高い医療を提供するために、医療安全管理体制の在り方を説明できる。
- 1 臨床推論に必要な医学知識を身につけ、質の高い疾病診断と診療計画を立案することができる。
- 2 症例提示に必要な情報収集能力を身につけ、相手に伝えることができる。
- 3 医師の責務について自覚し、チーム医療の一員として、協働することができる。
- 4 患者およびその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守し、常に患者の立場に立つことができる。
- 5 適切なインフォームドコンセントの取得方法を理解して、説明することができる。
- 1 医学的知識を整理し、省察力を通じて自己を高めることができる。
- 2 未解決の医学的問題を認識し、自己学習能力の向上を図ることができる。
- 3 生涯学習により、新しい医学知識や医療技術の創造に果敢に挑戦する高い志を持つことができる。

※ 平成 30 年度から実施